

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2023年9月号

# 森のおくりもの 9

NO.384 The Gift from Woods

オオセンチコガネ (センチコガネ科)



赤紫色のメタリックカラーはとても美しく、初めて出会えた感動は頭の上にビックリマークが見えるほどの衝撃でした。これに似た「センチコガネ」は散策路などで歩く姿を見かけるのですが、このオオセンチコガネはちょっと難しいかもしれません。いずれも林縁や林床に生息するので、まずはセンチコガネとの遭遇をお楽しみください。センチコガネは大きさ20mm弱とオオセンチコガネよりやや小さめで、色も形もそっくりですが、大きな違いは「頭楯(とうじゅん)」の形。※キレイですがふん虫のため直接のお触りは控えましょう※ 【館長：佐藤由美】

# 森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

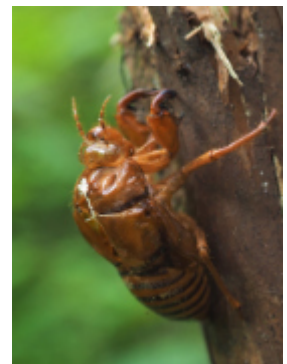
## 『一知半解(いっちはんかい)』

気がつけばいつの間にか暗くなるのが早くなっていて、草むらから虫の音が聞こえ、秋を感じるようになりました。しかし、仙台で8月28日に36.8℃の今年一番の暑さになり、30℃以上になる真夏日の年間最多日数がこれまでの48日を抜き観測史上1位となり、現在も記録更新中で、気温の高さではまだ夏は続きそうです。

夏といえばセミですが、種類によって鳴く時期が異なり、秋を知らせるように8月の半ば頃から鳴き始めるチッチゼミ、ミンミンゼミやツクツクボウシは10月になっても鳴いていて、秋を感じる素材のひとつです。声はすれども姿が見えないチッチゼミ。鳴いている姿を実際に見たことはないのですが、このご時世、ネットで検索すれば直接見ていなくても知ることはできます。

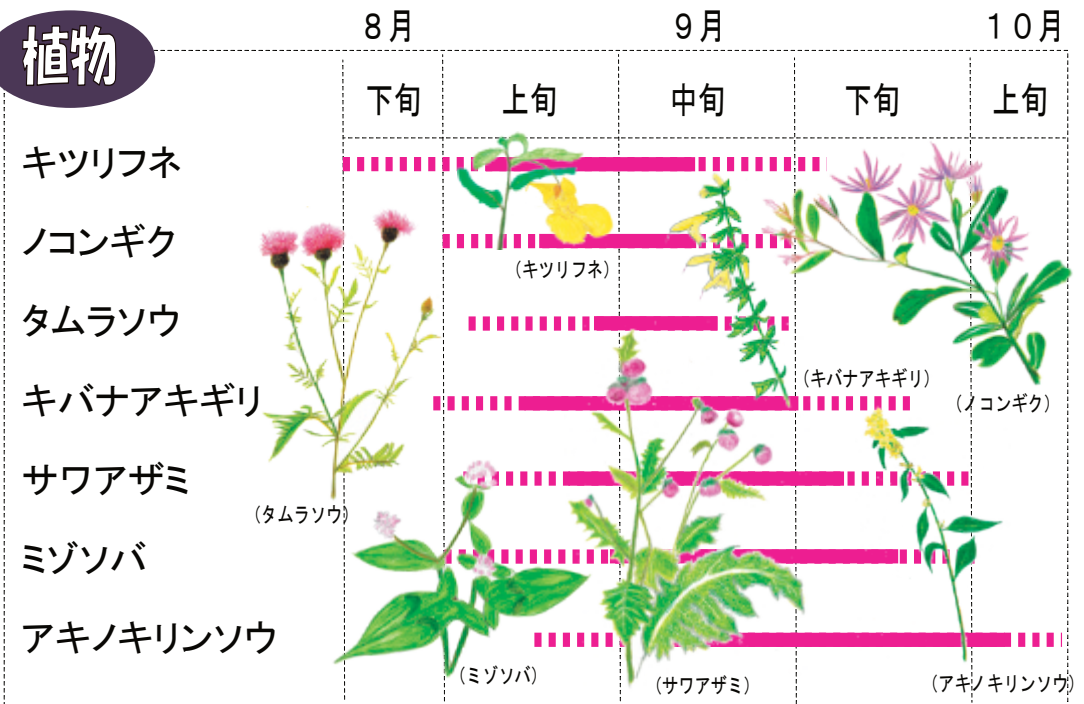
セミは身近な昆虫ですが、意外と知られていないことが多く、俗説やイメージの方が浸透しています。セミの寿命についても7年間地中にいて地上に出て7日間とよくいわれていますが、ネットで調べると、地中では種類によって違いがあり、ツクツクボウシで1～2年、アブラゼミで3～4年などでした。地上では1ヶ月以上生きているという情報が得られましたが、それを2016年に当時中学3年生が実証したということも知り驚きました。セミの寿命が1週間といわれていることに疑問を持ち、夏休みの2ヶ月かけてセミを捕獲し印を付けて放し、再び印が付いたセミを捕まえて何日生きているか確認するという方法で調査し、1ヶ月程度生きていることを実証したそうです。俗説やイメージを鵜呑みにすることなく気の遠くなるような地道な調査をしたのに対して、苦労せずに検索した情報でわかったつもりになっている自分を反省しました。

『一知半解』という言葉があります。「少ししかわかっておらず、十分に理解していないこと。生半可な知識や理解しかないこと。生かじり。」という意味です。簡単に情報を得られるため知ったつもりになってしまいがちです。常識を疑って正しいかどうか確かめてみるのが、情報が溢れている今の時代に一番大切なことなのではないかと思いました。 【レンジャー：新田隆一】



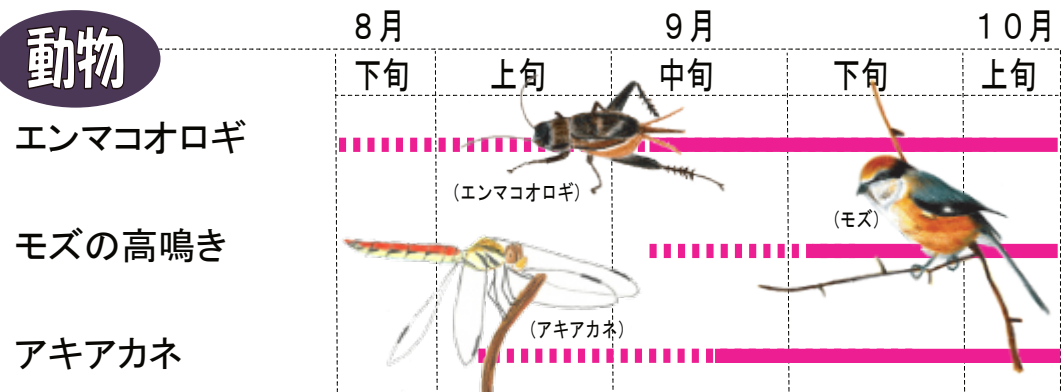
# 9月の生物ごよみ

## 植物



8月19日(土)の夜、観察センターでは初のイベントとなる『ライトトラップ観察会』を開催しました。ライトトラップ観察会とは夜に白い幕に光をあてて、そこに集まってくる昆虫たちを観察するイベントです。今回は特に昆虫に詳しい、宮城県昆虫地理研究会の齋藤雄二氏を講師に迎え開催しました。参加者も20名がすぐいっぱいになる人気ぶりで、企画した私もワクワクのイベントでした。観察会は18時30分からのスタートとなり、ライトをつけて本格的に集まってきたのは19時ごろからでした。開催したのが8月中旬だったので、カブトムシやクワガタムシなどの大型昆虫は確認することが出来ませんでした。チッチゼミやカマキリモドキなど、珍しい昆虫たちをまぢかに観察することができ、参加者はとても満足していました。来年もまた開催したいと考えています。  
【レンジャー: 齋 正宏】

## 動物





# 森の「あれこれ」



## 「残暑とクズとナツアカネ」



9月に入りましたがまだまだ残暑は続いています。皆さんはどんな暑さ対策していますか？部屋の冷房をつけるとか、冷たい飲み物を飲むとか？では森のいきもの達はどんな暑さ対策をしているのでしょうか？

上の写真はクズの葉とその上にとまったナツアカネ(アカトンボの仲間)です。クズ(葛)はマメ科のつる植物、先日風邪をひいたとき葛根湯にお世話になりましたが、身近な植物でセンター周辺でも観察できます。葉を平行に向け光合成をしますが、あまりに光が強すぎると光合成の速度も低くなるため光が当たり過ぎないように葉の角度を調整します。左下写真では垂直になるくらい葉を立てています。自分から木陰に移動できないクズだからこそその暑さ対策です。さて見通しの良い高いところが好きなナツアカネですが当然そこに木陰はありません。なので体をできるだけ垂直に向け少しでも日の当たる面積を減らし暑さを防ぎます(右下写真)。クズとナツアカネ、それぞれの暑さ対策が似ているのも興味深いです。

【レンジャー：木田秀幸】



# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*~\*)

ノブキの花が咲いていました。キク科ノブキ属の花は世界で4種知られていますが日本ではこのノブキ1種だけです。北海道から九州まで分布し、沢筋や林縁で見かけることが多く、葉が同じキク科のフキに似ていることから名づけられたようです。フキはフキ属ですから同じグループというわけではありませんが、花のつくりはとても良く似ています。写真①は花序全体の様子です。②の蕾にはカタグロチビドロバチが蜜を求めて訪問していました。③は頭花(多くの花が集まってできている花)の様子です。まず外側の蕾が開花しますが、この花は全て雌花です。次に中央の花が④のように開花していきます。(^^♪



中央の花は両性花ですが結実せず花の時期が終わると散ってしまいます。写真⑤では両性花がずいぶん減っているのが分かります。ところで写真⑤では花の外縁部にあった雌花の部分に何かサボテンのようなトゲトゲが見えますが何でしょう。写真⑥のようになっている花もありました。トゲトゲの部分は腺毛で食虫植物のモウセンゴケのようです。雌花が受粉するとこんな実になるのです。実が熟すとこのねばねばを利用して動物や人に引っついて種子を散布させようという戦略のようです。1つの株に様々な段階の花が見られるので移り変わりがよく分かりますよ。 .....(^^♪ 【レンジャー:菅原幸彦】

# 9月のイベント&お知らせ

## イベント

### ◆「小さな生きものの世界ウォッチング」

- 【日時】9月16日(土) 10:00~12:00
- 【対象】小学3年生以上の子どもとその保護者 10名
- 【内容】肉眼では見えない小さな生きものを探し、拡大して観察します
- 【持ち物】飲み物、帽子、虫よけ薬、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】9月6日(水)午前9時より電話受付(先着)

### ◆「きのご観察会」

- 【日時】10月7日(土) 10:00~11:30
- 【対象】20名 (中学生以下は保護者同伴)
- 【内容】仙台キノコ同好会から講師を招き、きのごの特徴の解説を聞きながら散策路を歩いて観察します
- 【持ち物】飲み物、帽子、虫よけ薬、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】9月7日(木)午前9時より電話受付(先着)

### ◆「家族で香り観察会」

- 【日時】10月9日(月、祝) 10:00~11:30
- 【対象】5歳以上の子どもとその保護者 10名
- 【内容】森を歩きながら匂いのする植物を観察して五感で自然を楽しみます
- 【持ち物】飲み物、帽子、虫よけ薬、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】9月8日(金)午前9時より電話受付(先着)



### ガイドウォーク

毎週日曜日開催  
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: **3日, 10日, 17日, 24日**

時間: **10:00~11:30, 13:30~15:00**

※4月~11月は午前・午後の2回実施します

### 休館日



**4日, 11日, 19日, 25日**

毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合翌平日が休館

### 観察の森へのアクセス

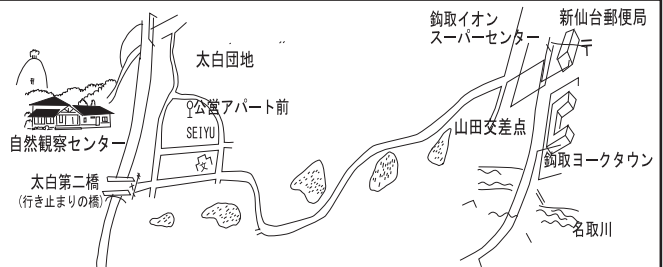


#### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」  
※③のみ「太白団地, 山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」  
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分

#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。  
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター